

私の住む六会地区

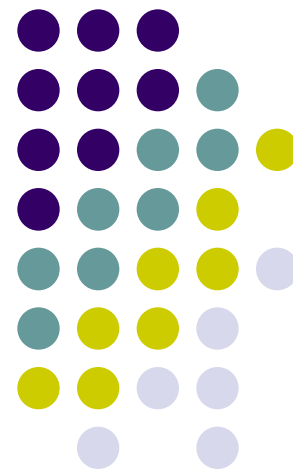
六会地区の人口約35000人・12000世帯

市の中心より北部になり、多くの自然が残る住宅地で高齢化率が高い南部と違い若い世代が多い活力のあるまち。

小田急線・国道・県道が南北に走りそれらを結ぶ東西交通の更なる充実が望まれています。

学校が多く地域内には日本大学近隣に多摩大学・慶応大学・文教大学があり、ボランティア活動の大きな担い手です。

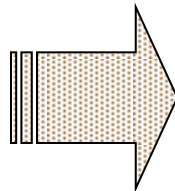
高校2校・中学2校・小学校5校(県下1児童数の多い)



【地区市民集会】

昭和56年度～平成8年度＝16年間

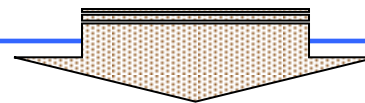
- 市政への市民参加の推進
- 地区ごとの市民と市長（市）との直接対話



【くらし・まちづくり会議】

平成9年度～21年度＝13年間

- 市民と行政の協働のまちづくり、共生的自治の推進
- 新しい市民提案システム
 - * 市への提言・提案
 - * 市民自らの地域での実践活動



市役所

市長

委嘱

本庁

権限
予算

市民センター
公民館

連携

【地域経営会議】

平成21年6月～モデル地区で実施 10月～全地区で実施

＜＜ 地域住民の意思決定機関 ＞＞

- ◎ 地域のことは地域で決めて地域で実行する
- ◎ 地域主権型、地域完結型のまちづくりを実現する
 - * 権限・予算の地域移譲
 - * 地域特性に応じた施策の展開

【委員構成】（委員20人程度）

<各種地域団体の代表>

- | | | |
|-------------------|--------------|-------------|
| ○自治会町内会連合会 | ○地区社会福祉協議会 | ○地区青少年育成協力会 |
| ○地区防犯協会 | ○交通安全対策協議会 | ○生活環境協議会 |
| ○民生委員児童委員協議会 | ○地区社会体育振興協議会 | ○公民館運営審議会 |
| ○学校・家庭・地域三者連携推進組織 | ○地元商店会 | など |

<公募>

環境部門 リサイクルひまわり



古布・衣類の再利用・再使用を身近な場所で見える様に展開し廃棄物になるものをつくらない社会になる様に活動を展開。

取扱

1ヵ月 持込衣類1,3トン(およそ450人)

繊維としての再使用1トン

来客数 110人



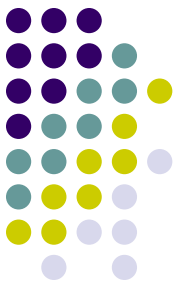
拠点を持った事で、地域の中で行き場の無かった高齢者などの人々の集え・話のできる場へとなっていた。

いつも相談所の様になっていたが、スタッフ一同一生懸命応えた。

福祉事業 あったかい居場所 ひまわりの開所を早めた。



福祉事業 ひまわり



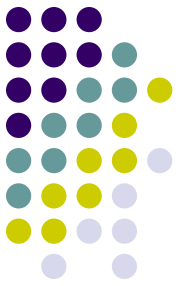
誰でも参加できる仕組みで1日いられる場所を開設。

藤沢市へ政策提案モデルとして介護予防を重視する事。住み暮すまちに長く居られる事の大切を提案。(現在市内5カ所)

スタッフ・ボランティアで参加する人も年齢等は関係なく活動したい人が参加。

講師も地域の方々をお願いする事により、更なる活動に理解者を拡げる。
また地域の課題発見になり共育につながると思う。





こんな事も見えてきました

- ・私たちの豊かな生活を支える為に
多くのアジアの同じ女性の苦しい状況
⇒現地NGOに協力をしてもらい女性の
識字・学校建設・制服の作成・図書室
の開所を10年継続
- ・国内の海外につながる子ども達の日本語
教室
- ・外出に車が必要の方々の支援
⇒有償運送事業
- ・健康を維持する為の配食サービス

